

地中でライフラインを支える技術



左から、工場長、代表取締役、マーケティング責任者

有限会社新日本化成

所在地 たつの市誉田町広山105-5
代表者 上野 学
TEL 0791-62-4207

○事業は

日用雑貨の洗濯バサミや水切り・ごみ箱などのプラスチック製品製造業として昭和六十三年に創業。平成に入り事業転換し、レジンコンクリート製品製造・加工を専門に行うようになりました。

○レジンコンクリートとは

従来のコンクリートの材料は骨

材として砂や砂利、結合材として水やセメントを使用します。レジンコンクリートの場合、骨材は同じですが結合材には水やセメントを一切使用せず、不飽和樹脂（レジン）を使用します。骨材と樹脂を触媒反応で短時間に硬化させることで高強度で耐久性に優れたものとなります。従来のコンクリートに比べ圧縮や曲げの強度が約三倍も高いので成型しやすく軽量化

が図れます。また、各種薬品に対し耐食性にも優れ、水の吸収率が非常に小さく凍結融解による強度劣化がないなどの特長もあります。

○製造している製品は

レジンコンクリート製バルブボックスを製造しています。バルブボックスとはマンホール下の上水道管や消火栓などの水の流量・圧力を制御するバルブを腐食から守り、操作空間を確保するためのものです。

○取引先は

札幌・福岡・川崎・大阪・姫路などの水道局に水道用バルブを納品しています。同じ水道管でも地域によって規格が異なるため、納品できる地域は限られています。

○気をつけていることは

材料の樹脂や補強材などは全て国産でJIS規格合格品を使用し、材料搬入から製品が出来るまで全ての工程を熟練した職人が作りま

す。日々の製造品はその日中に検査しデータを保管、出荷する直前にも再検査し合格したもののだけを出荷しています。また、地中での変化をデータ化し、より良い製品製造の工夫にも努めています。

地中の奥深くにある上水道などのライフラインを支えている製品のため不具合が起きても簡単に掘り起こせないので厳しい品質管理を行っています。

○これからは

レジンコンクリートには多種多様な応用性・可能性があります。製造会社のほとんどが古くからのメーカーで業界独特の決まりがあり大変ですが、社会に貢献できる自社ブランド製品を製造し、取引先を拡大したいと思っています。また、かつてのプラスチック製品製造ノウハウでいかなごやちりめんを入れる網状のプラスチックトレイを使いやすさや衛生面、環境問題に考慮し改良（廃棄時の排出CO2を半分削減など）した『エコかるくん』で今年二月に社会文化功労賞を受賞しました。今後、オリジナル製品として売り出して行きたいと思っています。